

神奈川県移行教育をすすめる仲間の会

ニュース NO 21 2015.9.30

発行者：「神奈川県移行教育をすすめる仲間の会」運営委員会

TEL 045-228-7704 FAX 045-228-7717

Eメール：i-kngw@chime.ocn.ne.jp

准看護師から看護師に 小論文の書き方・夏季集中講座学習から

「小論文の書き方入門」の学習会を6/28・7/12・7/26の3回、横浜・相模原で開催、8/9、放送大学夏季集中講座・小児・母性・精神・成人・老年の学習会を行いました。

参加者のアンケートなどから、今後の課題も見えてきたので紹介します。

小論文って?感想文との違いは?

職場の上司から進められて参加した人が多いんです。

そもそも小論文ってなあに?から始まります。感想文とも違う。設問って?テーマ・課題って?と初歩的なところから。

そして、難しい言葉や引用文をいっぱい使ってもダメ。要は与えられた設問をしっかりと理解して自分の看護感をもとに自分の考えをきちんと示すこと。

しかも大体800字程度です

肝心な事は実体験から導き出された自分の考え

設問の回答は、出題者に自分の体験を通して回答すること。

回答を考える時に、まず、自分がその設問をどう理解したのかをよく考えること。

参加者の感想

講義を聴いただけでは理解できない部分も、個別に実際に書いたものを指導してもらるので理解が深まる

10年ぶりの小論文だったためすべてが、勉強になりました。

限られた時間の中で行う学習会なのでとても良い。

自分の書いた物の違いに気づきやすいので、とても良かった。

事前に小論文を書いてきて、アドバイスをもらえるのは良いです。

今まで自分が考えていた(学んだ)論文構成とは違った内容で勉強になりました。形式だけでなく、自分の考えですね

小論文の書き方入門の学習は現役のレポート、研究論文にも活用できます。

職場や地域で何人かまとめれば、講師の永田先生は出張します

8月の夏季集中講座の昼休み、終了後と永田先生の個別指導を受けた人もいました。

2年課程通信・准看護師経験10年が半減?!

7月6日の読売新聞に2年課程通信制の入学要件が10年から5年程度に半減される方向と報道されていました。

神奈川県に確認してもそれ以上は…と明確にはなりませんでしたが、年内には厚労省の方向が出されるようです。



夏季集中講座学習会・5科目



放送大学夏季集中講座の中間レポート提出前の日程で8月9日、ウイリング横浜で朝から夕方まで一日びっしりと、小児(野中先生)・成人(野村先生)・精神(伊関先生)・母性(谷口先生)・老年(織井先生)と5科目の学習を行いました。講師は県立保健福祉大学看護学科の先生です。

昨年の受講生の希望もあり、保健福祉大学の先生たちの大きな協力で5科目に増やすことができました。

参加者は受講生・お世話係・小論文の永田先生・ジャーナリストの小林美紀さんと12名です。

参加者の感想を紹介します。

もっと聞きたい。時間が足りない。学習できてよかった。こんな機会をもっとほしい。

各科目90分という短時間の中で、要点を教えてください、なんとなく勉強の仕方がわかりました。

覚えなきゃいけない部分と、思考を働かせて考える部分、基本知識で押さえる部分、過去問を何度も見てわかる部分、今の社会の課題といっぱい見えた。

勤務の疲れで勉強便器始めようとしても集中力がなくなり、諦めかけていたけど、今日の学習会で、学習のポイント・勉強の仕方のヒントをもらったのでやってみようと思いました。

勉強方法・試験対策の考え方が参考になった。

学習の仕方・ポイントの絞り方・経験を持っているからこそその強みを生かすポイントが。

というように現役の現場で働いている私たちにとっても、刺激になり、学びの多い1日でした。

社会人の学びと若い学生の学びと学習方法、効果的な学習方法、強みを生かした方法を伸ばすことと、日頃の業務学にも生かせることがいっぱいでお世話係りの立場でもいっぱい学びがありました。2年課程通信を目指す人が対象だけど、看護師は生涯自己研さんが課題ですから、こんなまたとない機会をもっと活用できるといいのになが、お世話係の一致した意見です。

11月12日(木)13:30~ 対県交渉

准看護師の生の声を県に届けましょう。(県内に2年課程通信校を、進学支援を、休暇をなど)会場は波止場会館です。

参加可能な方は TEL 045-228-7704 又は 090-2728-8029(立花) までご連絡下さい。

全ての准看護師を看護師に…全国の仲間と一緒に

9月2~3日と日本医労連の看護要求実現全国交流集会がありました。小論文の講師として参加いただいている永田さんを含め仲間の会から5名参加しました。1日目は川島みどり先生の、今の世の中を見つめ、看護師として何をしなければいけないのか、災害看護というけれど自然災害だけではない、人災の最たるもの、戦争には絶対反対、看護師として「ふたたび白衣を戦争の血で汚さない」取り組みをしようとする軍国少女としての体験を通しての熱のこもった講演でした。

2日目の准看護師制度問題(2年課程通信含む)分科会に参加しました。

中野委員長から、制度問題のそもそもの矛盾・課題・この間の取り組み整理の後、討論です。

神奈川のこの間の仲間の会のニュースなどを資料に、神奈川の取り組みを報告しました。

参加者の意見交換で、新聞報道にもあったように、2年課程通信の入学要件が半減の可能性も含め、もう一度、准看護師制度問題の取り組みをしていこうとの意見が相次ぎました。

放送大学受講は思い立ったが吉日